

平成19年 8月31日

「ジオパーク構想と洞爺湖周辺地域エコミュージアム」フォーラム

ー洞爺湖ビジターセンター

講師 日本地質学会ジオパーク設立推進委員会 委員長 佃 栄吉 氏  
北海道大学 名誉教授 宇井 忠英 氏  
北海道大学 名誉教授 岡田 弘 氏



平成19年11月12日

洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会 市町長会議

- ・ジオパークの認証申請に向けた調査研究を行い、認定に向けた具体的な取組を行っていくことを確認。  
(北海道の地域再生チャレンジ交付金事業)

平成19年12月26日

日本ジオパーク連絡協議会設立総会

- ・日本各地のジオパークを世界のガイドラインに沿った質の高いものとするため、調査研究・情報収集を行い、情報発信・周知を図ることを目的に設置。
- ・副会長に壮瞥町長 選任

平成20年 1月19日

「ジオパーク（世界地質遺産）とエコミュージアム講演会」

ー伊達市防災センター

講師 環境省北海道地方環境事務所 所長 浅野 能昭 氏  
知床博物館 館長 中川 元 氏  
産業技術総合研究所地質調査総合センター 統括主幹 渡辺 真人 氏



平成20年 2月 9日

ジオパーク認証に関する打合せ会議

- ・産総研 渡辺氏を招き、有識者とジオパーク認証に向けた勉強会
- ・「(仮称) 洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討準備会」の開催を確認

平成20年 2月27日

ジオパーク認証に関する打合せ会議 (ジオパーク科学検討準備会)

- ・国内外の動き、当地域の取組についての情報共有
- ・GGN ガイドライン、自己評価票に沿った「地質遺産」の抽出作業。

平成20年 5月28日

第1回 日本ジオパーク委員会

- ・日本国内における日本ジオパークネットワークへの新規加盟申請に係る審査に関すること、世界ジオパークネットワークへの新規加盟申請候補の審査及び認定並びに推薦に関することまた、ジオパーク活動の推進に係る提言に関することなどを目的に設置。

委員長 尾池和夫 氏 (国際高等研究所フェロー (前京都大学総長))

副委員長 町田 洋 氏 (東京都立大学名誉教授)

平成20年 6月 2日

第1回 洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会

- ・洞爺湖有珠山周辺地域における地質遺産、自然遺産、文化遺産についての評価。

洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会 委員名簿

※敬称略 委員以下 五十音順

役 職	氏 名	所属/機関名等
委員長	岡 田 弘	北海道大学 名誉教授 環境防災総合政策研究機構 北海道支部 理事
委員	宇 井 忠英	北海道大学 名誉教授 環境防災総合政策研究機構 関西支部 専務理事
委員	大 島 直行	伊達市噴火湾文化研究所 所長
委員	大 島 弘光	北海道大学大学院 理学研究科附属 地震火山研究観測センター 准教授
委員	勝 井 義雄	北海道大学 名誉教授
委員	後 藤 芳彦	室蘭工業大学 環境防災工学講座 准教授
委員	敷 田 麻実	北海道大学観光学高等研究センター 観光連携研究部門 教授
委員	露 崎 史朗	北海道大学院地球環境科学研究院 統合環境科学部門地球温暖化評価分野 准教授
委員	中 川 光弘	北海道大学大学院 理学研究院 自然史科学部門地球惑星システム科学分野 教授
委員	廣 瀬 亘	北海道立地質研究所 地域地質部表層地質科 研究職員
委員	三 松 三朗	三松正夫記念館 館長

※世界ジオパークネットワークへの認証申請を行うにあたり、地質遺産、文化遺産、自然遺産等の遺産価値について、専門家の観点から検討を行うため、平成20年6月2日、設置。



平成20年 6月 7日～8日 「洞爺湖サミット開催記念  
洞爺湖周辺地域エコミュージアム・ジオツアー」 実施



■ ツアー場所

- ・ そうべつ情報館 i
- ・ 昭和新山
- ・ 有珠山洞爺湖展望台、火口原展望台
- ・ 三松正夫記念館
- ・ 1977年火山遺構公園
- ・ 西山山麓火口群
- ・ 洞爺湖ビジターセンター
- ・ カムイチャシ史跡公園
- ・ 旧礼文華中学校
- ・ 有珠善光寺
- ・ 北黄金貝塚公園

北海道洞爺湖サミット開催の好機を活かし、国際観光地域として飛躍するため、洞爺湖圏の地域資源や情報を発信し、新たなツーリズムのモデルを示すことを目的に実施。札幌圏の住民73名が参加。

平成20年 6月22日 第3回ユネスコ世界ジオパーク会議（ドイツ オスナブリュック）  
～26日

- ・ プレゼンテーションにより登録申請に向けた地域のアピール
- ・ GGN へのコンタクト、他国、他地域の情報収集



平成20年 7月 4日 第2回 洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会  
・ ジオパークエリアの決定、申請書内容の検討。

平成20年 7月18日 日本ジオパーク連絡協議会 平成20年度総会  
・ 日本ジオパーク委員会に世界ジオパーク申請書提出



平成20年 9月 2日 ユネスコ 松浦事務局長と日本ジオパーク委員会 尾池委員長、日本ジオパーク連絡協議会役員との懇談会

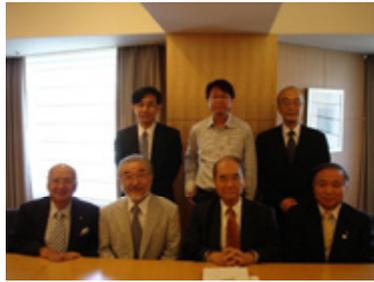


写真 前列右から  
米田糸魚川市長、松浦事務局長、尾池委員長、  
吉岡島原市長  
後列右から  
山中壮警町長、中貝豊岡市長、産総研渡辺氏

平成20年 9月 4日 第2回 日本ジオパーク委員会  
・世界ジオパーク申請候補地域のプレゼンテーション  
(糸魚川・島原半島・四国(室戸地域)・山陰海岸・洞爺湖有珠山)



平成20年 9月30日～ 日本ジオパーク委員会による現地審査  
10月 1日 伊藤 和明 委員 (NPO 法人防災情報機構会長)  
中田 節也 委員 (東京大学地震研究所教授)



平成20年10月20日 第3回 日本ジオパーク委員会  
世界ジオパークネットワーク申請地域の選定

### 「洞爺湖有珠山ジオパーク」国内候補地に決定

国内から3地域が選定(「洞爺湖有珠山」「糸魚川(新潟県)」「島原半島(長崎県)」)



平成20年10月21日

第1回 洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会

第3回 洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会

・選定結果の報告、今後の予定について



平成20年10月21日

世界ジオパーク講演会「洞爺湖有珠山ジオパークに期待するもの」

ー洞爺湖ビジターセンター

講師 洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会

委員長 岡田 弘 氏 (北海道大学名誉教授)

委員 大島 直行 氏 (伊達市噴火湾文化研究所長)

委員 露崎 史朗 氏 (北海道大学大学院地球環境科学研究院 准教授)

委員 廣瀬 亘 氏 (北海道立地質研究所研究職員)



廣瀬委員



大島委員



岡田委員長



露崎委員

平成20年11月 1日

「地球を知り、人の営みを考えるエコ・ジオツアー」実施



■ ツアー場所

- ・入江・高砂貝塚館
- ・伊達市防災センター
- ・北黄金貝塚公園
- ・伊達市噴火湾文化研究所



「エコミュージアムサテライト (=ジオサイト)」をフィールドとし、先人からの営み、知恵などを学び、理解する旅を、地域住民に提供し、エコミュージアム、ジオパークに対する取り組みへの理解を深めることを目的に実施。40名が参加

---

平成20年11月13日 洞爺湖有珠山ジオパーク 世界ジオパークネットワーク  
申請選定記念フォーラム

－豊浦町地域交流センター「とわにー」

講師 日本ジオパーク委員会 委員 加藤 碩一 氏  
(独立行政法人産業技術総合研究所フェロー地質調査総合センター代表)  
北海道大学大学院文学研究科 教授 小杉 康 氏

講師の日本ジオパーク委員会委員加藤碩一氏は、ジオパークの目的や各国のジオパークの事例紹介、日本のジオパークの意義などについて、また、北海道大学大学院教授小杉康氏からは、有珠6遺跡の調査結果と小幌洞窟遺跡の発掘調査の中間報告が行われ、約150名の参加者はジオパーク、洞爺湖有珠山地域の資源について理解をふかめました。



加藤 碩一 氏



小杉 康 氏

---

平成20年12月 8日 第4回 日本ジオパーク委員会

### 国内最初の「日本ジオパーク」が認定 (国内7地域)

・日本国内のジオパーク活動が公式にスタート

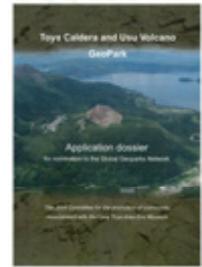
認定地域	「洞爺湖有珠山」「アポイ岳 (北海道様似町)」「糸魚川 (新潟県)」「南アルプス (中央構造線エリア) (長野、静岡、山梨県)」「山陰海岸 (京都府、兵庫、鳥取県)」「室戸 (高知県)」「島原半島 (長崎県)」
------	---



---

平成20年12月25日

世界ジオパークネットワークに申請書 提出  
・日本ジオパーク委員会を通じて、申請書（英文）を提出。



---

平成21年2月10日

日本ジオパーク連絡協議会 臨時総会

国内7地域の「日本ジオパーク」のうちの3地域が「世界ジオパークネットワーク（GGN）」に申請。今後、世界と一体で動ける組織、国内のレベル向上のための組織の必要性について協議し、当協議会を発展的に解散し、新たに「日本ジオパークネットワーク（JGN）」を設立することについて合意。（設立予定平成21年5月中旬）

※連絡協議会は日本各地のジオパークを世界のガイドラインに沿った質の高いものとするため、調査研究・情報収集を行い、情報発信・周知を図ることを目的に平成19年12月26日に設置。



---

平成21年2月20日

日本ジオパーク記念式典

山中町長、工藤豊浦町長、洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会 三松三朗委員などが出席。

日本ジオパークに認定された7地域に認定書が授与されたほか、各地域ごとに日本ジオパークの紹介プレゼンテーションなどが行われた。



平成21年3月12日 洞爺湖有珠山ジオパークフォーラム

— 壮瞥町地域交流センター「山美湖」 —

プログラム

講演 「火の山—有珠山—とジオパーク」

講師 洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会 委員長 岡田弘氏（北海道大学名誉教授）

パネルディスカッション 「洞爺湖有珠山ジオパークと火山マイスター」

コーディネーター そうべつエコミュージアム友の会 会長 三松三朗氏

パネリスト 洞爺湖有珠火山マイスター

安藤忍氏、福田茂夫氏、夏目與市氏、加賀谷仁左衛門氏、横山光氏、佐藤恣氏

「洞爺湖有珠山ジオパーク」が日本ジオパークに認定されたことを記念するとともに、世界ジオパークの登録に向け、さらにこの地域のもつ魅力や価値を学び、地域が共通の理解を深めるため開催。町内外から約130名が参加。



平成21年4月17日 セミナー「北海道のフットパスを楽しもう！」

— 壮瞥町地域交流センター「山美湖」 —

(独) 土木研究所 寒地土木研究所 共催

プログラム

話題提供

「北海道のフットパス —その可能性と課題—」 エコ・ネットワーク代表 小川 巖氏

「洞爺湖有珠山地域の魅力を生かそう」 北海道大学名誉教授 岡田 弘氏

「海外火山地域におけるフットパスの先進事例」 北海道大学名誉教授 宇井忠英氏

パネルディスカッション

「フットパスを利用して地域の魅力や活力を育てる可能性」

コーディネーター (独) 土木研究所 寒地土木研究所

寒地水圏研究グループ長 吉井厚志氏

パネリスト エコ・ネットワーク 代表 小川巖氏

(社) 北海道観光振興機構

グループマネージャー 横山浩二氏

(株)洞爺ガイドセンター  
代表取締役 小川裕司氏  
壮瞥町立壮瞥中学校教諭 横山 光氏

洞爺湖有珠山フットパスマップを一つの参考として、フットパスを通じて地域の宝物を再認識し、地域の活力を高めることを目指し開催。町内外から約100名が参加。



---

平成21年4月18日 日本ジオパーク認定記念 昭和新山登山学習会

支援： 三松正夫記念館

ガイド 洞爺湖有珠火山マイスター 佐藤恣氏、加賀谷仁左衛門氏、横山光氏

この地域をより深く知っていただくために、ジオパーク住民連絡網に登録された方々など参加者を限定して開催。約50人が参加。



---

平成21年5月9日 日本ジオパーク認定記念 有珠山登山学習ジオツアー

主催：そうべつエコミュージアム友の会

後援：洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会  
自然公園財団昭和新山支部

講師 岡田 弘 北海道大学名誉教授

コース案内 三松 三朗 そうべつエコミュージアム友の会会長  
そうべつエコミュージアム友の会ガイド部会のみなさん

今回は特別な許可のもと有珠外輪～四十三山間（1977年噴火後利用不可）をたどり、「生きている大地」を実感しながら、噴火の歴史と火山防災、周辺の動植物などを学習するツアーを開催。約50人が参加。



---

平成21年5月16日 日本ジオパークネットワーク（JGN）設立総会

国内では7地域が日本ジオパークとして認定され、その内「洞爺湖有珠山ジオパーク」を含む3地域が、世界ジオパークネットワーク（GGN）加盟に向け申請中。今後、世界と一体で動ける、また国内のレベル向上のための組織が必要となり、日本ジオパーク連絡協議会を発展的に解散し、新たにJGNを設立。

会長には新潟県糸魚川市長、副会長には山中町長、長崎県島原市長、兵庫県豊岡市長が就任。



---

平成21年5月17日 日本地球惑星科学連合2009年大会（千葉：5/16～21）

洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会 岡田弘委員長が「変動する大地との共生」をテーマにこの地域の特徴について紹介。



平成21年7月11日 サミット記念「洞爺湖有珠山ジオツアー」実施

地域の方々に対して、ツアーを通じて地域を改めて認識し、この地域の魅力を発信してもらうことを目的に開催。32名が参加。

行程：金比羅火口災害遺構、金比羅火口フットパス、サミット記念館

案内人：岡田弘北海道大学名誉教授

馬場俊治氏（有珠山ガイドの会）、

夏目與市氏（有珠山ガイドの会、洞爺湖有珠火山マイスター）



平成21年7月17日～19日 世界ジオパークネットワークによる現地審査

■現地審査委員



Prof. Dato' Dr. Ibrahim Komoo

(イブラヒム・コモオ)

マレーシア国立ケバングサン大学教授

国立災害委員会議長

アジアパシフィックジオパークネットワークコーディネーター



Prof. Dr. Mohd Shaffia Leman

(モハド・シャフィー・レーマン)

マレーシア国立ケバングサン大学教授

第4回ユネスコ世界ジオパーク会議議長

7月17日（1日目）

洞爺湖ビジターセンター・火山科学館

歓迎式（洞爺湖ビジターセンター）

2000年噴火遺構公園展望台

西山山麓散策路

昼食（ウインザーホテル洞爺）

レイクヒルファーム

洞爺湖有珠山フットパス（金比羅山ルート）

有珠山 南外輪ー北外輪



7月18日(2日目)

1977年火山遺構公園  
有珠山ロープウェイ洞爺湖展望台・火口原展望台  
三松正夫記念館  
昼食 (加賀谷仁左衛門邸)  
洞爺湖ビジターセンター  
金比羅火口災害遺構公園  
浜田観光果樹園  
そうべつ情報館 i



7月19日(3日目)

豊浦町文学碑公園、カムイチャシ史蹟公園  
有珠善光寺、アルトリ岬  
昼食 (ローヤルホテル)  
だて歴史の杜 黎明館  
北黄金貝塚公園  
総括 (伊達消防防災センター)  
フェアウェルパーティー (ホテルサンパレス)



平成21年8月23日

## 国内最初の「世界ジオパークネットワーク」への加盟決定

中国泰安市で開催されたGGN事務局会議において審議され加盟正式決定  
(糸魚川、島原半島も加盟決定)



---

平成21年10月18日 世界ジオパークネットワーク加盟認定記念  
4市町記念フォーラム in 壮瞥町  
— 壮瞥町地域交流センター「山美湖」 —

プログラム

- 講演 「日本初のジオパーク認定までの道のりと今後の期待」  
洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会 委員長 岡田弘氏（北海道大学名誉教授）
- 講演 「国内初のジオパーク認定の意義」  
日本ジオパーク委員会 委員 伊藤和明氏（元NHK解説委員）
- 講演 「島原半島ジオパーク」  
島原半島ジオパーク推進連絡協議会 事務局長 杉本伸一氏

「洞爺湖有珠山ジオパーク」が世界ジオパークネットワークに正式加盟が決定したことを受け、構成4市町で順次開催する記念フォーラムの第1弾として開催。  
町内外から約60名が参加。



---

平成21年10月30日 世界ジオパークネットワーク加盟認定記念  
4市町記念フォーラム in 伊達市  
— 伊達市消防防災センター —

プログラム

- 講演 「洞爺湖有珠山の世界的価値と他地域の事例に学ぶ」  
洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会 委員 宇井忠英氏（北海道大学名誉教授）
- 講演 「洞爺湖有珠山地域の世界的価値—ジオパークと縄文—」  
洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会 委員 大島直行氏（伊達市噴火湾文化研究所長）
- 講演 「他地域に学ぶ「糸魚川ジオパーク」」  
糸魚川市フォッサマグナミュージアム学芸員 竹之内 耕氏

「洞爺湖有珠山ジオパーク」が世界ジオパークネットワークに正式加盟が決定したことを受け、構成4市町で順次開催する記念フォーラムの第2弾として開催。  
市内外から約100名が参加。



平成22年11月16日 洞爺湖有珠山ジオパーク・GGN認定記念フォーラム in 札幌市  
道新ホール

洞爺湖有珠山ジオパーク認定記念事業実行委員会 北海道新聞社 主催

テーマ ジオツーリズムの可能性

プログラム ■ 「ジオパークと北海道観光の未来」

北海道大学観光学高等研究センター長 石森 秀三氏

■ パネルディスカッション

コーディネーター 北海道新聞社室蘭支社報道部長

斉藤 紳一氏

パネリスト 北海道大学観光学高等研究センター長

石森 秀三氏

北海道大学名誉教授

岡田 弘氏

伊達市噴火湾文化研究所長

大島 直行氏

ワカサリゾート株式会社常務取締役

若狭 幸司氏



平成21年12月12日 世界ジオパークネットワーク加盟認定記念  
4市町記念フォーラム in 豊浦町

豊浦町地域交流センター「とわにー」

プログラム

講演 「洞爺湖有珠山ジオパーク～変動する大地との共生」

洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会 委員 三松三朗氏

(三松正夫記念館館長 NPO法人そうべつエコミュージアム友の会代表理事)

パネルディスカッション 「ジオパークを北海道の地域振興に繋げるために」

コーディネーター NPO法人環境防災総合政策研究機構 理事 松尾一郎氏

(洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会幹事会 アドバイザー)

パネリスト 洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会 委員 三松三朗氏

NPO法人豊浦観光ネットワーク 理事長 高岡正義氏

株式会社洞爺ガイドセンター 代表取締役 小川裕司氏

NHK室蘭放送局放送部 専任記者 池之端隆史氏

「洞爺湖有珠山ジオパーク」が世界ジオパークネットワークに正式加盟が決定したことを受け、構成  
4市町で順次開催する記念フォーラムの第3弾として開催。

町内外から約100名が参加。



---

平成21年12月16日 世界ジオパークネットワーク加盟認定記念  
4市町記念フォーラム in 洞爺湖町 ー洞爺湖文化センターー

プログラム

- 講演 「地域資源を活用した持続可能なまちづくり」  
札幌学院大学経営学部 教授 河西邦人氏
- 講演 「北海道観光の現状と課題」  
北海道運輸局 企画観光部長 小林 稔氏
- 講演 「ジオツーリズムの可能性」  
株式会社 日本旅行 北海道仕入販売センター所長 清水芳裕氏

「洞爺湖有珠山ジオパーク」が世界ジオパークネットワークに正式加盟が決定したことを受け、構成4市町で順次開催する記念フォーラムの第4弾として開催。

町内外から約100名が参加。



---

平成22年2月26日 洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会設立総会

世界ジオパークネットワーク（GGN）の認定に向けては、洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会を中心に推進してきたが、今後はさらに地域が一体となり、世界ジオパークのガイドラインに沿ったジオパークを推進するために、観光協会や事業者、ガイド団体、NPO 団体、一般住民などを加え、新たに「洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会」を設立。

- 会長：山中 漠 壮瞥町長  
副会長：長崎 良夫 洞爺湖町長  
副会長：若狭 洋市 洞爺湖温泉観光協会会長  
監事：菊谷 秀吉 伊達市長  
監事：工藤 國夫 豊浦町長



---

平成22年4月12～15日 第4回世界ジオパーク国際会議（マレーシア ランカウイ島）

山中壮瞥町長、菊谷伊達市長、工藤豊浦町長、岡田北大名誉教授ら9名が参加。会議には世界各国から約400人、日本からは洞爺湖有珠山のほか、北海道の様似町（アポイ岳）など、8地域約60人が参加。

岡田北大名誉教授により有珠山の歴史と防災文化の形成、防災教育と、噴火を繰り返すことで洞爺湖有珠山ジオパークに新たな見どころが生まれるというストーリーや魅力を紹介。

歓迎式典では洞爺湖有珠山ジオパークを含む、前回ドイツでの会議以降に認定された12地域への記念品の授与式も行われた。

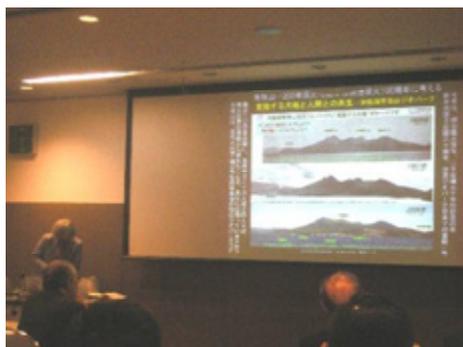


---

平成22年5月23～24日 日本地球惑星科学連合2010年大会・  
日本ジオパークネットワーク総会

日本地球惑星科学連合大会では、洞爺湖有珠山ジオパーク学識顧問である岡田弘委員長が「変動する大地と人間との共生」をテーマに「この地域には昔から「火山をよく知り、火山と仲良く」という減災文化の源流が既にあったと紹介。

JGN総会では、洞爺湖有珠山ジオパークを含む3地域が日本初の世界ジオパークネットワークに加盟された8月22日を「ジオパークの日」とすることが決定。



---

平成22年6月26～27日 世界ジオパーク認定記念ジオツアー（第1弾）

「次代を担う地元子どもたち、及び小中学校教員を対象に、洞爺湖有珠火山マイスターとジオパークのみどころ（ジオサイト）をめぐり、人材育成、ジオパークの理解と活用の促進を目的とする「世界ジオパーク認定記念ジオツアー」（洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会主催）を開催。

26日は、小学3～6年生を対象とした「有珠山登山会」として、34人が参加。

27日は、小中学校の先生を対象とした「火山遺構ジオツアー」を開催、約40人が参加。洞爺湖ビジターセンター／火山科学館やフットパス（散策路）金比羅山ルートなど、有珠山周辺のジオサイトを巡った。



---

平成22年8月9～10日 世界ジオパーク認定記念ジオツアー（第2弾）

「ジオパークの歴史と文化を巡る」と題して、豊浦町のカムイチャシ史跡公園や伊達市の有珠善光寺、北黄金貝塚公園などを見学。

9日は地域の小学3～6年生が対象で43名が参加、縄文文化とアイヌ文化の関わりなどを学んだほか、北黄金貝塚では「勾玉づくり」を体験。

10日は、小中学校の教職員が対象で14名の先生が参加。



---

平成22年8月15日 世界ジオパーク登録1周年記念

夏休み子供向け講座「火山のふしぎとジオパーク」

主催：サッポロビール株式会社北海道本社

協力：洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会

場所：サッポロビール博物館

岡田 弘北大名誉教授による、火山や洞爺湖有珠山ジオパークについてのわかりやすい話すと、食べ物を使ったマグマや火山爆発のしくみがわかる楽しい実験を実施。



---

平成22年8月21日 日本ジオパークネットワーク臨時総会

特定非営利活動法人日本ジオパークネットワークの設立について承認されたほか、第2回日本ジオパーク全国大会の開催地に洞爺湖有珠山地域が決定された。



---

平成22年8月22日～23日 日本ジオパーク 糸魚川大会

糸魚川市民を含む約1,000人が参加。洞爺湖有珠山ジオパークからは20名が参加。ジオパークの普及や地域振興に結びつけようと情報を交換したり、交流を深めました。

1日目：日本ジオパーク認定式（恐竜渓谷ふくい勝山、隠岐、阿蘇、天草御所浦）

基調講演 有人宇宙システム株式会社 主幹技師 長谷川洋一氏

香港ジオパーク シニアジオパークオフィサー ヨン・カミン氏

意見発表 「子ども学芸員からのメッセージ」

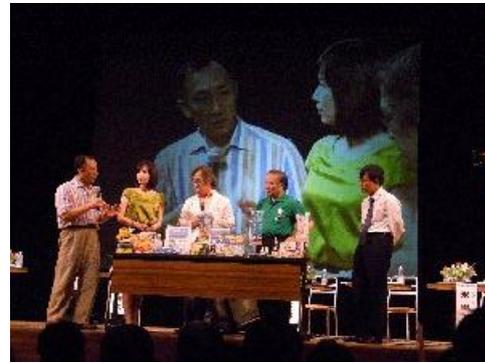
パネルディスカッション

コーディネーター 武田 鉄矢氏

アシスタント 伊藤 聡子氏

パネリスト 松原 隆一郎氏、米田徹氏、渡辺真人氏

2日目：ジオサイト見学会



---

平成22年8月28日 世界ジオパーク登録1周年記念

第1回公開講座「知ってるジオパーク」

主催：洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会

共催：北海道新聞社

特別協力：サッポロビール株式会社北海道本社

場所：紀伊国屋書店札幌本店

参加者：午前の部80名、午後の部50名

【講師/MC】

- ・地方独立行政法人北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所 研究主任 廣瀬 亘 博士
- ・洞爺湖ビジターセンター・火山科学館 ガイド/火山マイスター 佐々木 伸 氏
- ・MC FM 北海道 山口由美氏



---

平成22年9月17日 世界ジオパーク登録1周年記念  
第2回公開講座「知ってるジオパーク」

主催：洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会  
共催：北海道新聞社  
特別協力：サッポロビール株式会社北海道本社  
場所：紀伊国屋書店札幌本店

【講師/MC】

- ・三松正夫記念館 館長 三松 三朗 氏
- ・伊達市噴火湾文化研究所 所長 大島 直行 氏
- ・MC FM 北海道 山口由美氏



---

平成22年10月3日 世界ジオパーク登録1周年記念  
第3回公開講座「知ってるジオパーク」

主催：洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会  
共催：北海道新聞社  
特別協力：サッポロビール株式会社北海道本社  
場所：紀伊国屋書店札幌本店

【講師/MC】

- ・洞爺湖有珠火山マイスター 加賀谷 仁左衛門 氏
- ・(株)洞爺ガイドセンター 代表取締役 小川 裕司 氏
- ・MC FM 北海道 山口由美氏



---

平成22年10月9日～11日 第1回「北海道はうまい！北の大収穫祭」  
(洞爺湖有珠山ジオパークパネル展示並びにふるさと PR ステージへの参加)

主催：恵比寿ガーデンプレイス(株)  
サッポロビール株式会社北海道本社  
場所：恵比寿ガーデンプレイスセンター



---

平成22年11月27日 「いぶり喰いっぷり向上フェスタ」  
(洞爺湖有珠山ジオパークパネル展示並びに勾玉づくり体験)

主催：北海道胆振総合振興局  
場所：グリーンデパート（室蘭市）



---

平成23年1月25日 洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会 臨時総会

9月29日～10月1日の3日間、当地域で開催される日本ジオパーク全国大会の日程や内容などの概要を決定。

大会名：第2回日本ジオパーク洞爺湖有珠山大会  
主 催：第2回日本ジオパーク洞爺湖有珠山大会組織委員会  
(洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会、日本ジオパークネットワーク、日本ジオパーク委員会等)  
内 容：シンポジウムやポスターセッションなどのほか、ジオツアーを実施。その他、当地域ならではの体験や物販などのイベントも予定



---

平成23年2月	4日	シーニックナイト (壮瞥町)
	2月 5日	洞爺湖温泉冬まつり (洞爺湖町)
	2月 9日	さっぽろ雪まつり (札幌市)
	2月26日	昭和新山国際雪合戦 (壮瞥町)
	2月27日	まるごと豊浦 北の収穫祭 (豊浦町)

各イベントにおいて、洞爺湖有珠山ジオパークのPRを、イメージキャラクターの「ジオマン」により実施。



洞爺湖温泉冬まつり



さっぽろ雪まつり



昭和新山国際雪合戦



北の収穫祭

---

平成23年3月2日 第2回日本ジオパーク洞爺湖有珠山大会プレイベント  
「縄文～ジオパーク・世界遺産としての価値を探る～」  
―壮瞥町地域交流センター「山美湖」―

プログラム

- ・取組発表 「壮瞥中学校の総合的な学習 「まるごと壮瞥」の紹介」  
発表者 壮瞥中学校3年 清水稔平さん、中村愛里さん
- ・講演 「縄文～ジオパーク・世界遺産としての価値を探る」  
講師 伊達市噴火湾文化研究所 所長 大島直行氏

第2回日本ジオパーク全国大会に向けた機運醸成、また、地域住民にジオパークについての理解を深めてもらうため開催。町内外から約140名が参加。



---

平成23年6月3～4日 洞爺湖有珠火山マイスター養成講座

(胆振総合振興局・洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会)

6月3日(金)座学

岡田弘氏(北海道大学名誉教授)からは東日本大震災や海外の自然災害と防災について、加賀谷仁左衛門氏(洞爺湖有珠火山マイスター)からは当地域の自然について、小川裕司氏(洞爺ガイドセンター代表取締役)からは安全管理についての講義。約50名が参加。



6月4日(土)現地学習会

宇井忠英氏(北海道大学名誉教授)と三松三朗氏(三松正夫記念館館長)の案内のもと、有珠新山や大有珠の山頂などを歩き、各ポイントの地形や地層を見ながら、有珠山の火山活動の歴史や特徴などを学びました。約40名が参加



洞爺湖有珠火山マイスター制度：洞爺湖や有珠山などに関する正確な知識を有する人をマイスターに認定し、地域防災力の向上や地域の魅力発信に活かしていくことを目的とする制度。

---

平成23年6月18日 第2回日本ジオパーク全国大会洞爺湖有珠山大会開催記念ジオツアー  
ジオツアー「2000年噴火遺構コース」

「有珠山2000年噴火の火口群・噴火遺構を巡り、変動する大地を体感する」をテーマとして、西山山麓火口散策路やフットパス金比羅山コースなどを散策。

住民や事業者、教員を対象に41名が参加。



---

平成23年6月19日 第2回日本ジオパーク全国大会洞爺湖有珠山大会開催記念ジオツアー  
ジオパーク勉強会

「1944年・1977年噴火遺構と大地の恵みコース」として、昭和新山や有珠山の山頂などを散策。火山灰による肥沃な台地がもたらしたジオパークの恵みであるくだもの狩りも楽しむコースに小学校5年生～中学生30名が参加。



---

平成23年7月10日 洞爺湖有珠火山マイスター認定審査会  
(胆振総合振興局・洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会)

平成23年度の認定審査が行われ10名が受験。フィールド審査と面接審査が行われ4名が合格。現在、火山マイスターは20名。



---

平成23年7月16日～22日 APGN(アジア・パシフィック・ジオパーク・ネットワーク)シンポジウム参加

ベトナム国ハノイを会場に、アジア・パシフィック・ジオパーク・ネットワーク大会が開催され、7名が参加。

7月16、17日：ジオパークフェア

ポスターの掲示や、配布用のリーフレット、マップ等により当地域の特徴や魅力をPR

7月18、19日：本大会

参加国の取組発表。当地域からは岡田学識顧問により世界の自然災害と防災の動向、当地の火山との共生の歴史について、事務局より火山遺構の活用やマイスター制度について紹介

7月20～22日：フィールドトリップ

ベトナムのGGN登録地、ドンファン・カルスト台地ジオパークの視察。



---

平成23年7月30日 第2回日本ジオパーク全国大会洞爺湖有珠山大会開催記念ジオツアー  
ジオパーク勉強会

「歴史文化体験コース」として、伊達市の北黄金貝塚公園や開拓記念館など噴火湾岸東エリアを見学するコースとして開催。だて歴史の杜では、「藍染め」を体験。小学校5年生～中学生18名が参加。



---

平成23年7月31日 第2回日本ジオパーク全国大会洞爺湖有珠山大会開催記念ジオツアー  
ジオツアー「歴史・文化体験コース（噴火湾岸西エリア）」

「縄文・アイヌ・和人の文化と自然との共生の歴史に触れる」をテーマとして、入江・高砂貝塚（洞爺湖町）、カムイチャシ史跡公園（豊浦町）、有珠善光寺（伊達市）などを散策。  
住民や事業者、教員を対象に31名が参加。



---

平成23年8月13日～15日 韓国済州島ジオパーク視察対応

GGNの一員である済州島ジオパーク（韓国）から3名が訪問。昭和新山や1977年火山遺構公園などを案内し情報交換や意見交換を実施。



---

平成23年8月13日～14日 オール北海道ジオパークイベント (千歳アウトレットモール レラ)

「アポイ岳ジオパーク (様似町)」と「白滝ジオパーク (遠軽町)」と北海道3地域合同によるPRイベント。各地域の特産品や無料宿泊券などが当たる抽選会や体験イベントを開催。



---

平成23年9月28日 第2回日本ジオパーク全国大会洞爺湖有珠山大会 プレジオツアー

A1コース：歴史・文化体験コース (噴火湾岸西エリア)

テーマ：縄文・アイヌ・和人の文化と自然との共生の歴史に触れ、大地の恵みを楽しむツアー

参加者：32名

A2コース：2000年噴火遺構コース

テーマ：有珠山2000年噴火の火口群・噴火遺構をめぐり、変動する大地を体感するジオツアー

参加者：31名

A3コース：【特別プログラム】昭和新山登頂・周回コース

テーマ：特別天然記念物の昭和新山登頂、周回ジオツアー

参加者：34名



---

平成23年9月28日 日本ジオパークネットワーク理事会/臨時総会

北海道洞爺湖サミット記念館



平成23年9月29日～10月1日

第2回日本ジオパーク全国大会洞爺湖有珠山大会

9月29日【大会1日目】

ジオツアー B2コース：地元中学校（壮瞥中学校）野外学習見学コース

テーマ：壮瞥中学校の野外学習に同行し、地質・防災教育を見学するジオツアー

参加者：31名



日本ジオパーク認定証授与式／新規認定地域取組発表  
JGC尾池委員長より9地域へ認定証を授与。



平成22年9月14日認定地域  
白滝ジオパーク（北海道）  
伊豆大島ジオパーク（東京都）  
霧島ジオパーク（鹿児島県・宮崎県）

平成23年9月5日認定地域  
男鹿半島・大瀧ジオパーク（秋田県）  
磐梯山ジオパーク（福島県）  
茨城県北ジオパーク（茨城県）  
下仁田ジオパーク（群馬県）  
秩父ジオパーク（埼玉県）  
白山手取川ジオパーク（石川県）

日本ジオパーク事例発表

日本ジオパーク委員会より情報提供及びGGN認定地域（糸魚川、島原、山陰海岸）、道内日本ジオパーク認定地域（アポイ岳）より事例発表



ポスターセッション（コアタイム）

展示参加者数：56団体、94点



9月30日【大会2日目】

分科会

第1分科会

テーマ：ジオパークと観光

参加者：72名

コーディネーター：杉本伸一氏（島原半島ジオパーク）  
川南恵美子氏（洞爺湖有珠火山マイスター）

第2分科会

テーマ：ジオパークと防災

参加者：58名

コーディネーター：中川和之氏（日本ジオパーク委員会委員）  
宇井忠英氏（洞爺湖有珠山ジオパーク学識顧問）  
柴田伊廣氏（室戸ジオパーク）

第3分科会

テーマ：ジオパークと教育

参加者：62名

コーディネーター：佐茂厚美氏（洞爺湖有珠火山マイスター）  
池辺伸一郎氏（阿蘇火山博物館館長）

第4分科会

テーマ：ガイドの取組

参加者：56名

コーディネーター：小川裕司氏（洞爺ガイドセンター代表取締役）  
西谷香奈氏（伊豆大島ジオパーク推進委員会）



## 開会セレモニー



## フォトコンテスト入賞者表彰

道内外から約140点の応募あり。

(最優秀賞 1点、優秀賞2点、北海道知事賞、JGN理事長賞各1点、入選11点)



## 児童生徒取組発表

発表校：洞爺湖町立洞爺湖温泉小学校

豊浦町立豊浦中学校

壮瞥町立壮瞥中学校

北海道伊達緑丘高等学校



## 第1部 シンポジウム

### 基調講演Ⅰ「災害列島とジオパーク」

岡田弘 北海道大学名誉教授

自然災害が繰り返されることは歴史が証明している。歴史から学び、常に危機感を持つことが大切。2000年噴火は迅速な避難が行われた。この地域は火山と仲良く暮らし、減災の手本となる。

### 基調講演Ⅱ「知的観光資源としてのジオパーク～新たな観光の創造をめざして～」

大島直行 伊達市噴火湾文化研究所長

これからの観光は量より質となる。見る観光から学ぶ観光、そして考える観光へとシフトする。ジオパークは知的好奇心をそそる場所が多く、博物館や美術館がシンクタンクとなり、住民と一緒に盛り上げていく必要がある。

### パネルディスカッション

「ジオツーリズムを通じた観光地づくり ～変動する大地との共生～」

コーディネーター：渡辺真人氏（独法）産業技術総合研究所）

三浦和則氏（とうや湖温泉旅館組合長）

中貝宗治氏（山陰海岸ジオパーク推進協議会会長）

坂元英俊氏（阿蘇ジオパーク推進協議会事務局長）

柴田伊廣氏（室戸ジオパーク推進協議会）

岡田弘氏、大島直行氏



## 大会宣言

- 一 ジオツーリズムを通じて、産業振興と雇用の拡大による持続可能な地域社会を形成します。
- 一 教育活動を通じて、防災意識と環境配慮意識を高めます。
- 一 自然と共生してきた先人の教訓を伝承し、国内外の安全文化の構築に貢献します。
- 一 国内外のジオパークと連携し、ジオパークの取組の発展と拡大を目指します。



## 第2部 講演・鼎談 「あたり前の暮らしを求めて」 倉本聰氏（作家）

※講演後 倉本聰氏、伊藤和明氏（NPO法人防災情報機構会長）三松三朗氏（三松正夫記念館館長）による鼎談



## 10月1日【大会3日目】

### ジオツアー

- C1コース：歴史・文化体験コース（噴火湾岸東エリア）  
テーマ：縄文・アイヌ・和人の文化と自然との共生の歴史に触れ、大地の恵みを楽しむツアー  
参加者：32名
- C2コース：1944・1977年噴火遺構コース  
テーマ：  
参加者：46名
- C3コース：2000年噴火遺構コース  
テーマ：有珠山2000年噴火の火口群・噴火遺構をめぐり、変動する大地を体感するジオツアー  
参加者：92名
- C4コース：アポイ岳ジオパークコース  
テーマ：マグマのふるさと・かんらん岩と蝦夷地開拓の歴史に触れるジオツアー  
参加者：8名



---

平成23年10月24日 講演会「もっと知りたいジオパーク」(札幌市 紀伊国屋書店)  
(主催：北海道新聞社、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会)

演題：「変動する大地のジオパーク 北海道をジオパークの島に」  
講師：岡田弘北海道大学名誉教授



---

平成23年11月12日 「いぶり×ひだか☆食と観光」(札幌市 アリオ札幌)

「壮瞥町」のステージイベントにジオパーク推進協議会からも参加し、この地域のPR



---

平成23年11月8日～12月5日 第1回洞爺湖有珠山ジオパークフォトコンテスト 巡回作品展

フォトコンテストの入賞作品を巡回展示し、写真コンテストの結果の周知と様々な視点から撮影された写真を通してジオパークの魅力を発信

11/8～14 壮瞥町：道の駅そうべつ情報館 i  
11/15～21 洞爺湖町：JR洞爺駅 交流センター多目的ホール  
11/22～28 伊達市：伊達信用金庫本店1階ホール  
11/29～12/5 豊浦町：豊浦町地域交流センター とわに一

